

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 300 号	氏名	宮田 倫明
学位審査委員	主 査	進藤 裕幸	
	副 査	江口 勝美	
	副 査	松山 俊文	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 ステロイド性大腿骨頭壊死症の病因、病態の解明ならびに、ペントサンの骨頭壊死の防止効果を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 動物モデル (Stroke-Prone Spontaneous Hypertensive Rat: SHRSP) ラットを用いて、ステロイドならびにペントサン投与の有無により 4 群間において、血液生化学的に脂質代謝異常を、病理組織学的・免疫組織学的手法で、骨壊死ならびに酸化ストレスについて比較検討したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、ペントサンは脂質代謝の改善ならびに酸化ストレスの低減化を介して、ステロイド性大腿骨頭壊死症の発生を有意に抑制することが明らかとなった。今後ペントサンの臨床応用により大腿骨頭壊死症の予防法確立への可能性を示唆するもので<u>発展が期待される。</u></p> <p>以上のように本論文はステロイド性大腿骨頭壊死症の基礎医学的ならびに臨床研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと